

富山市総合計画審議会第2回安全部会 概要

場所：富山市役所議会棟7階 第2委員会室

日時：平成23年10月20日（木）

10:00～11:50

1 開会

2 部会長あいさつ

・本日は、第1回安全部会で出された各委員からの意見に基づき、事務局で作成した対応（案）について意見を伺い、第1回協働部会での議論を踏まえて、総合計画後期基本計画の策定に向け、議論を尽くしていきたい。

3 議事

・富山市総合計画後期基本計画（案）についての意見と対応（案）について

<概要>

（部会長） まず、配付された資料について説明をお願いしたい。

（事務局） 資料について説明

（委員） 現在のハザードマップはリアリティに乏しい。東京や大阪では、災害時帰宅支援マップを作成している。非常に役に立つのではないか。また、ハザードマップには防火地域や緊急確保路線や病院等を掲載してはどうか。

災害時要支援者対策については、三条市では要支援者のリストを作成し、民生委員以外にも、消防団、自治会等へも配付している。今年度、アンケート調査を行い有効かどうか検証するとのことであり参考になるのではないか。

（部会長） 津波対策について、岩瀬地区などでは高台がないが避難をどう考えていくのか。地域で具体的に考える必要がある。

（委員） 災害に対して、町内会を連携させる組織づくりが必要である。安全部会としては、情報の伝達方法の確立など、断片的ではなく総合的に検討すべきある。

（部会長） 東日本大震災では、中学生が独自の判断により高台に避難し、助かったという例があるので、ハザードマップのみを頼りするのではなく、個人の判断も重要であると思う。

(委員) ご意見と対応(案)のNo.34について、現実的に、高齢者世帯が台帳登録をすることが難しいのではないかと。有効な方法を検討してほしい。また、自治会では、個人情報の保護によって、地域の高齢者の状況把握に困っているのが現状である。

(事務局) 災害時要援護者支援制度について、台帳登録は本人の了解が前提となっている。また、避難支援計画の提出が少ないので、啓発活動を行っていく予定である。また、限界集落への支援等も課題である。

また、災害発生時には、自助、共助、公助が必要であると言われていたが、公助には限界があり、自助、共助の必要性をPRしていきたい。

(委員) 災害はいつ起きるか分からないため、住所地に常にいるわけではないので、施設など人が多く集まっている場所との連携・話し合いが重要である。

(委員) 115頁の市民に期待する役割について、「消費者の判断力を高めることが求められている」という表現を盛り込んでどうか。

(部会長) 以上で、第1回安全部会での意見についての対応案についての審議は終了したい。続いて、対応案以外の全体的な部分についての意見、提言などを伺いたい。

125頁の目標とする指標の中で、温室効果ガス排出量の削減割合について、基準数値が平成17年度0%となっているが、表記を変更してはどうか。また、温室効果ガス排出量を対2005年比で2030年に30%減は原子力発電所ありきの数値ではないか。

(事務局) 富山市環境基本計画を踏まえて見直しをしていきたい。また、30%削減は国の方針等を踏まえて検討する。

(委員) 市民に期待する役割について、ただ期待するだけでなく、成果をどのように求めていくのか。

(事務局) 市民に期待する役割については、行政の役割を明確にするとともに、市民にやってもらうことを明確にすることが必要である。強い表記にすると義務的になってしまうため、数値目標等は記載していない。

ただし、自主防災組織の組織率の向上などについては、行政だけで達成できないものであり、70%という数値目標を掲げている。

(委員) 除雪等について、市民が自主的にやっていくことが昔に比べて無くなっており、全て行政頼みになっている。市民がすべきことはしてもらうように行

政として言う必要があるのではないか。

(事務局) 最近では町内会に除雪や公園の管理などをお願いしてやってもらっており、今後も伸ばしていきたい。

(部会長) 観光客向けなどでレンタル自転車が増えた場合、事故も増えるため、自転車道を整備する必要があるのではないか。

(委員) 児童や幼児は道路ではなく、歩道を走行することが可能となっている。また、全体的に市民にお願いする形になっている。もっと積極的に市民と一体となって安全なまちを作っていこうというトーンが弱いのではないか。

(部会長) 総合計画後期基本計画について、ダイジェスト版を作成するのか。また、総合計画は作って終わりではなく、その内容が広く住民へ広がっていくことが大切である。

(事務局) ダイジェスト版を作成し、メリハリをつけたものにしていきたい。また、広報とやまで概要をお知らせし、市ホームページにおいても掲載する予定である。

(委員) 災害時に民間の活力を活かす仕組みが必要ではないか。

(事務局) 地域防災計画の中で検討したい。

(部会長) 富山市防災講演会などの取り組みは多くの市民が参加しており、市民への教育としてよい取り組みである。

(委員) 防災教育については、大学においても関心が高まっている。

(部会長) 今後、第2回協働部会が予定されており、本日の意見を報告することとしたい。また、答申案について、安全部会に関して部会長に一任していただきたい。

4 閉会

(以上)